



脱炭素経営をワンストップでサポート

**D-Lineup** × **アスゼロ**

**Scope3 まで対応**

サプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>排出量見える化から  
低・脱炭素ソリューションによるCO<sub>2</sub>排出量削減へ

**Daigas エナジー** **アスエネ**

## 導入事例 — アスゼロ —

**アスゼロ**



プライム市場 上場子会社

**小売業**

(連結従業員数: 約24,000名)



課題

- サステナビリティの基礎から分からない。
- 6つの重要課題の1つの気候変動への対応の推進。



アスゼロでの  
解決

- 気候変動への取り組みの目標・KPIの策定。
- 気候変動に関する外部環境の勉強会実施。
- アスゼロ CO<sub>2</sub>排出量SaaS&SXコンサル導入。

脱炭素経営に  
向けた具体的な  
取り組みを開始  
できた

**アスゼロ**



プライム市場 上場会社

**情報・通信業**

(従業員数: 約500名)



課題

- コーポレートガバナンス・コード要請に対応したいが対応方法が分からない。
- CDP質問書 約200問に回答したいがノウハウがない。
- 将来的に有効な算定・開示システムがほしい。



アスゼロでの  
解決

- CDP回答支援コンサルの提供。
- CDP回答方法の勉強会・説明。
- CDP回答ドラフトのレビュー・添削。
- CDP回答ノウハウを基に改善案の提案・実行。
- アスゼロ CO<sub>2</sub>排出量SaaS&SXコンサル導入、TCFDコンサル導入予定。

CDPへの  
回答がスムーズに  
できた

## 導入事例 — D-Lineup —

**D-Solar**



プライム市場 上場会社

**六甲バター株式会社**

太陽光パネル: 984kW



課題

- 新工場のエネルギー使用量が、想定より上振れしていたため、省エネ、CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みが必要だった。
- 新工場建設直後のため、省エネ設備への追加投資をするか悩んでいた。

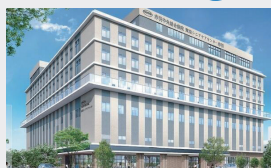


D-Solarでの  
解決

- イニシャルレスのエネルギーサービスを導入することで、初期投資の負担なく省エネ、CO<sub>2</sub>排出量削減を実現できた。
- 将来の再エネ賦課金、電力単価の上昇リスクを低減できる。

将来的な  
電力単価上昇  
リスク低減にも  
繋がった

**D-Airing**



総合病院 医療法人社団博栄会

**赤羽中央総合病院・**

**東京シニアケアセンター赤羽**

空調: 3,186kW



課題

- 災害に強い大規模な複合医療施設となる病院新築移転を計画していた中でイニシャルコストを削減し、経営資源の有効活用を図りたい。
- 病院規模拡大により設備維持管理業務が増えることが予想され、病院では生命線となる空調の24時間365日監視をアウトソーシングしたい。



D-Airingでの  
解決

- イニシャルレスで、病院移転に関する初期費用を当初の予算内におさめることができた。
- 空調の24時間365日の遠隔監視など、信頼できる設備維持管理体制で維持管理の手間軽減に繋がった。

設備維持管理の  
手間を軽減

# 全ての企業が意識すべきCO<sub>2</sub>排出量削減の最新動向

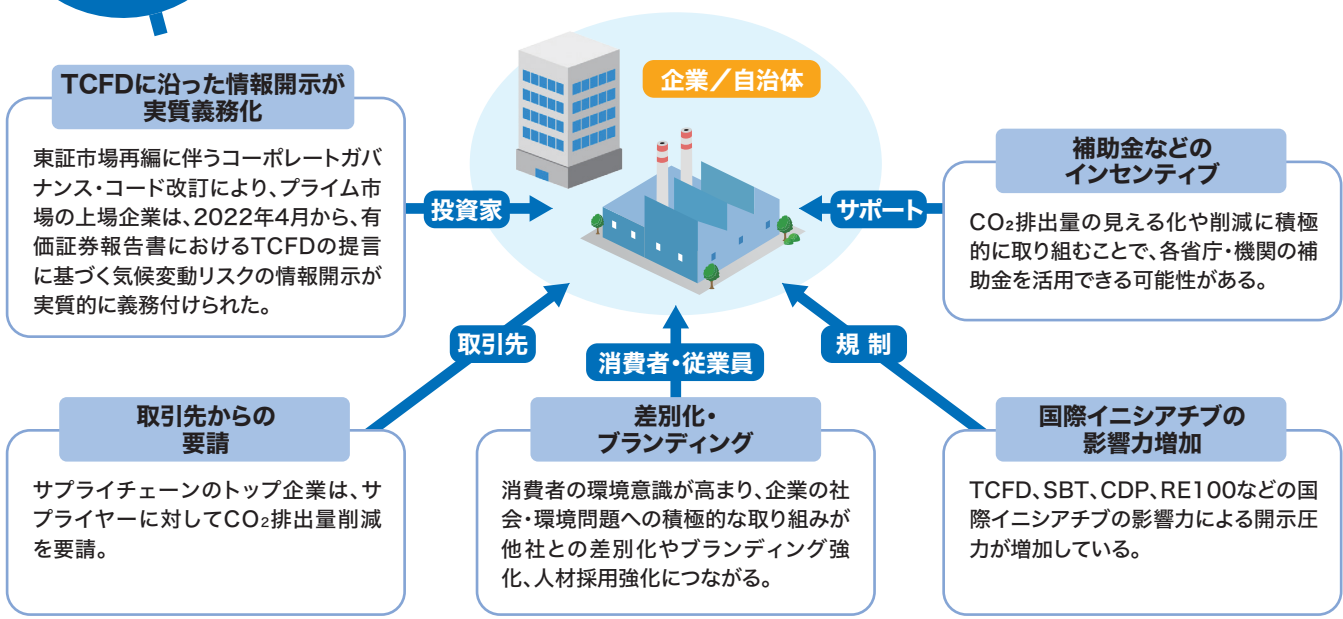
気候変動に関する国際的な枠組み「パリ協定」の発効、2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル宣言」など、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。

## 避けては通れない「CO<sub>2</sub>排出量見える化」

高まる  
情報開示の  
重要性

### さまざまな観点から避けては通れないCO<sub>2</sub>排出量見える化

SBTやTCFDなどの国際イニシアチブの影響力の高まりを背景に、企業は様々なステークホルダーに対して、CO<sub>2</sub>排出量に関する情報開示が必要不可欠となりました。



## CO<sub>2</sub>排出量見える化の課題

＜各過程でみられる課題＞

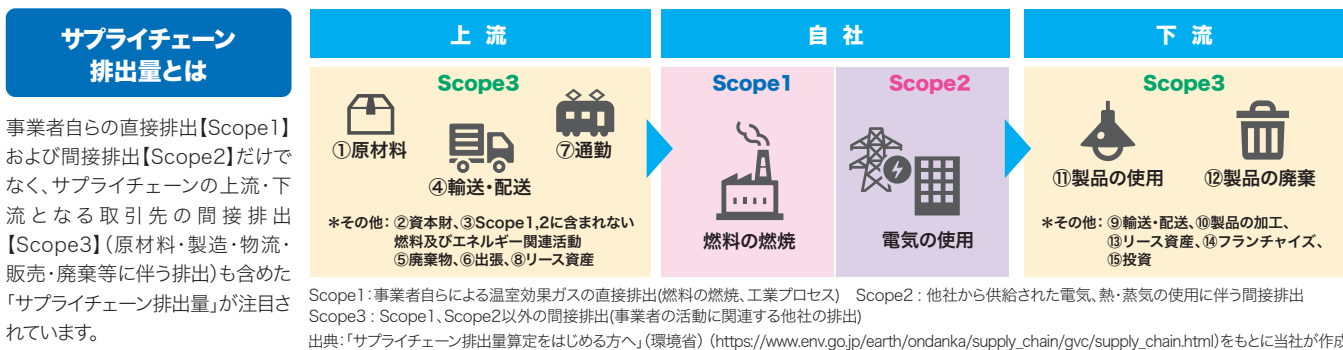
- ### ① 見える化

  - 算定方法・領域がわからない
  - データの収集や算出に時間がかかる(サプライチェーン排出量の把握が困難)
- ### ② 削減

  - 最適なCO<sub>2</sub>削減手法や費用対効果がわからない
  - どんな削減目標やシナリオを作ればよいかわからない
- ### ③ オフセット

  - オフセットするクレジットの種類が多く、違いや対応イニシアチブがわからない
- ### ④ 報告

  - CDP・省エネ法などイニシアチブ毎に報告フォーマットが異なり、作成に時間がかかる



特に、【Scope 3】の見える化は、膨大なデータ収集と煩雑な仕分け作業などの多大な労力がかかり、知識やノウハウが必要となります。

# 脱炭素経営をワンストップでサポート



## エネルギー × テクノロジー の相乗効果

アスエネは、Scope1～3のサプライチェーン全体におけるCO<sub>2</sub>排出量見える化・削減・報告を行うクラウドサービス「アスゼロ」、およびSX<sup>※1</sup>コンサルティングを提供。Daigasエナジーは、エネルギー会社の強みを活かした低・脱炭素ソリューションを提供。

これらにより、企業のCO<sub>2</sub>排出量見える化から低・脱炭素ソリューションによるCO<sub>2</sub>排出量削減までをワンストップでサポートします。

※1. SX (Sustainability Transformation) : 企業が「稼ぐ力」を維持するために、持続可能性を重視した経営へ転換を図ること

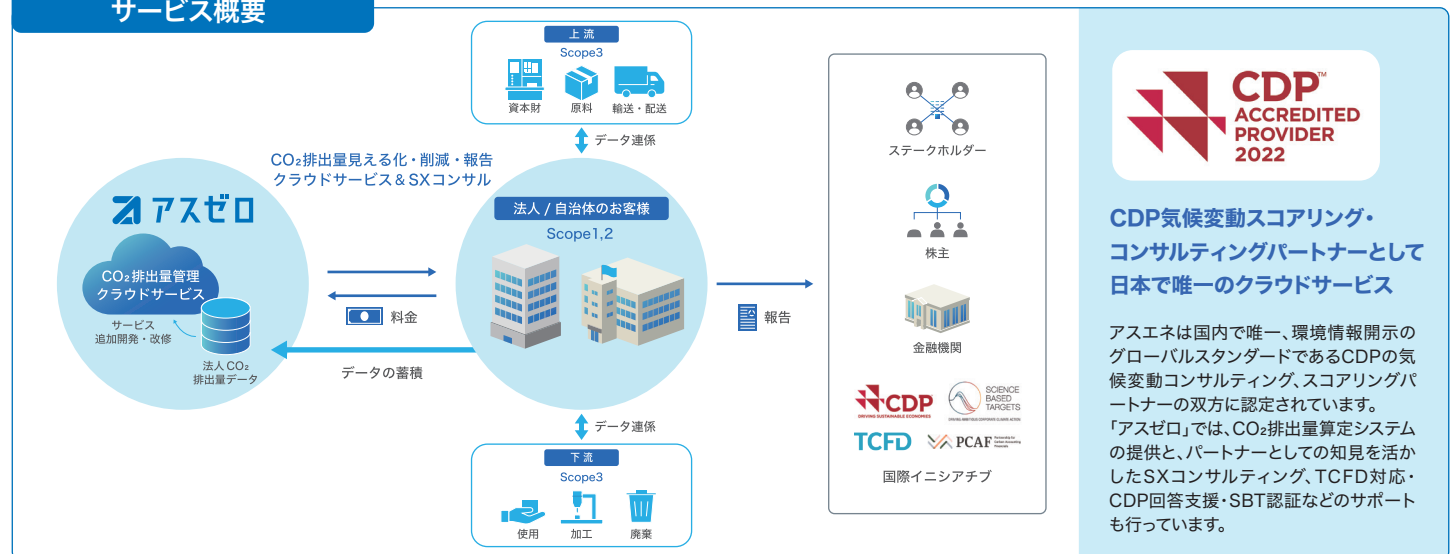
<連携イメージ>



## CO<sub>2</sub>排出量見える化・削減・報告クラウドサービス「アスゼロ」

「アスゼロ」は、CO<sub>2</sub>排出量見える化から削減、カーボンオフセット対応、CDP・TCFDなどのイニシアチブ報告支援まで脱炭素経営の業務工数を最大70%削減するクラウドサービスです。

### サービス概要



### 「アスゼロ」が選ばれる理由

AIを活用した画像アップロードなどの基本機能はもちろんのこと、カーボンオフセット(各種クレジット・環境証書)対応、シナリオ分析や計画策定・各種報告など、脱炭素経営に役立つさまざまな機能が備わっています。

#### POINT 01 AI-OCRスキャンで 自動で見える化



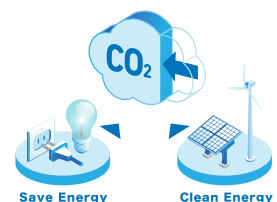
- Scope1-3のデータ回収・入力・算出をAI+人力で自動化
- お客様の算出工数を削減

#### POINT 02 国際認証システムで 正確性向上・効率化



ISO14063-4・ISMSなどの国際認証取付最新機能搭載のシンプルで使いやすいシステムで正確性向上・効率化

#### POINT 03 CO<sub>2</sub>削減も まとめておまかせ



SaaS+SXコンサルなど、脱炭素のワンストップ・ソリューションを提供、最適なCO<sub>2</sub>削減を実行

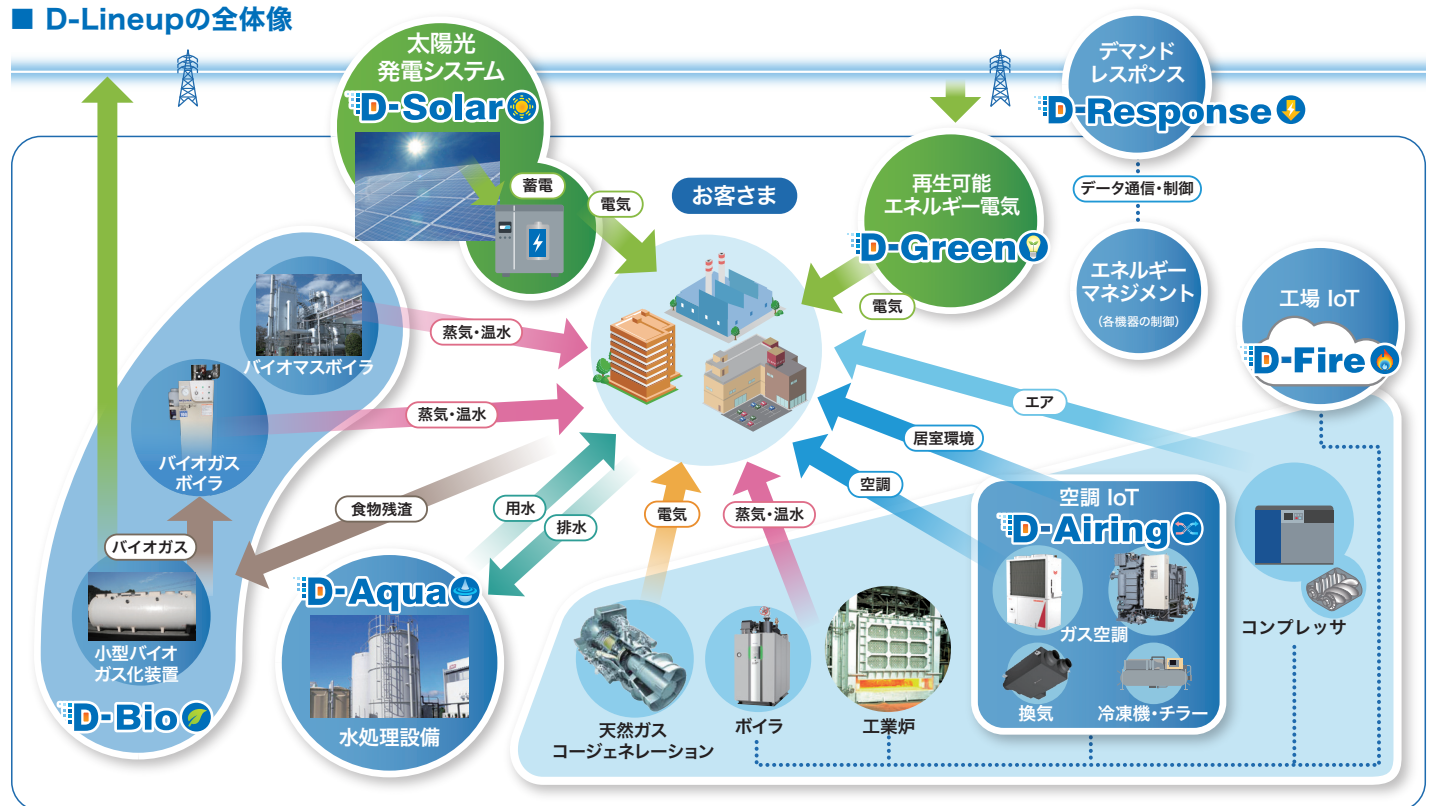
# 脱炭素ソリューション D-Lineup

3つのD **Decarbonization** 脱炭素化 **Decentralization** 分散化 **Digitalization** デジタル化 を軸とした低・脱炭素ソリューションです。エネルギー会社の強みを活かし、お客さまの様々なニーズにお応えします。

## ■ D-Lineupの主要7サービス

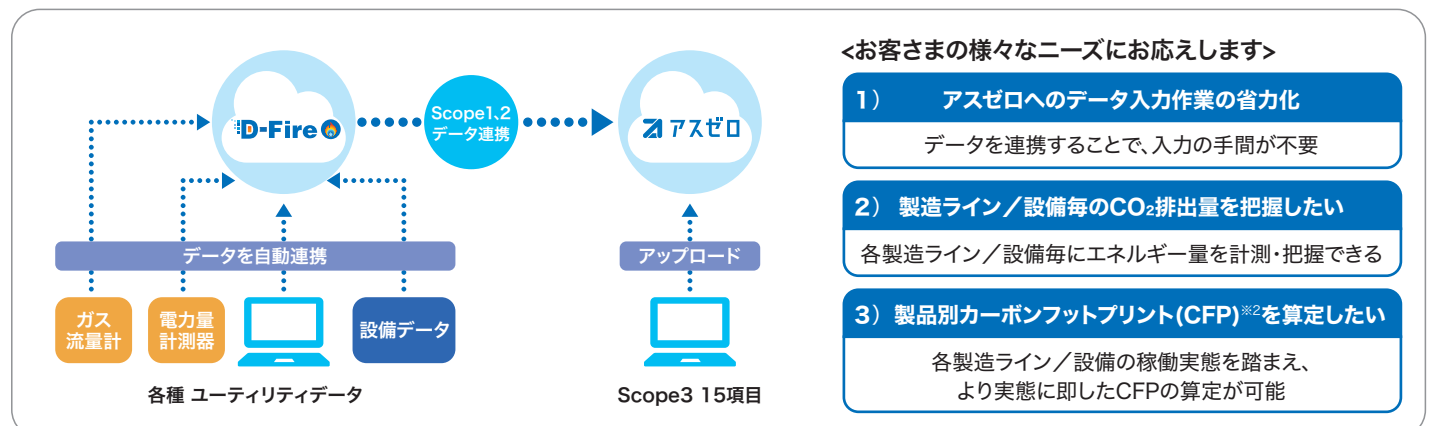


## ■ D-Lineupの全体像



## 【設備の一次データ連携について（D-Fireの活用）】

アスゼロに、工場向けIoTサービス「D-Fire」※1を連携することで、工場・施設の一次データを活用したCO<sub>2</sub>排出量見える化が可能です。



※1 D-Fireとは、さまざまなデータと連携し、お客さまの「省エネ・省人化」「品質均一化」「操業安定」などを実現するIoTサービスです。

※2 CFP(Carbon Footprint of Products)とは、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組みです。

## 導入までの流れ

CO<sub>2</sub>排出量算定から具体的なCO<sub>2</sub>削減策の実行に至るまで、ワンストップでサポートします。

STEP  
01

### ご相談

脱炭素に初めて取り組む方でも、CO<sub>2</sub>排出量算定・削減に関する質問をお気軽にご相談ください。



STEP  
02

### 勉強会

CO<sub>2</sub>排出量算定の基礎や、ケーススタディを学ぶ。担当コンサルタントが不安な点などを解消します。



STEP  
03

### 初期設定

施設情報やユーザー登録、セキュリティ設定、算定対象範囲など利用に必要な設定をします。



STEP  
04

### CO<sub>2</sub>排出量見える化

請求書データなどをアップロードすることで、システムが自動でCO<sub>2</sub>排出量を算定します。



STEP  
05

### CO<sub>2</sub>排出量削減計画の策定

設備状況やサプライチェーン、事業の全体像から削減計画を実態に合わせて策定します。



STEP  
06

### 脱炭素ソリューション検討

お客様の計画に沿って具体的な脱炭素ソリューションをご提案します。



STEP  
07

### 脱炭素ソリューション導入

導入いただいた後もCO<sub>2</sub>見える化から削減に至る工程の維持管理を含めてサポートします。



### 計画達成



#### 用語集

##### ◆TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

企業の気候変動への取り組み、影響に関する情報を開示する枠組み。投資家が適切な投資判断をする上で必要となる気候関連財務情報開示を企業に促すことを目的とする。

##### ◆SBT(Science Based Targets)

企業の科学的な中長期の目標設定を促す枠組み。パリ協定が求める水準に整合した5年～15年先を目標年として企業が設定するGHG排出量削減目標。

##### ◆CDP(Carbon Disclosure Project)

機関投資家が連携し、企業に対して気候変動への戦略やGHG排出量に関する公表を求めるプロジェクト。

##### ◆RE100(Renewable Energy 100)

企業が事業活動に必要な電力の100%を再生エネルギーで賄うことを目指す枠組み。

#### ◆アスゼロ画面イメージ



↓ 詳しくは



**D-Lineup** × **アスゼロ**

詳しくは ↓



## アスエネ

〒105-6415 東京都港区虎ノ門1丁目17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 15階 CIC TOKYO  
TEL:050-3188-4866

<https://earthene.com/corporate>

#### アスエネ株式会社 会社概要

代表者：代表取締役CEO 西和田 浩平  
資本金：25億2,681万円(資本剰余金含む)  
認定/加盟：CDPパートナー、JEITA、RE100運営事務局JCLP 他  
証：ISO27001(ISMS)、ISO14064-3

## Daigas エナジー

〒541-0046 大阪市中央区平野町四丁目1番2号  
TEL.06-6205-4641 FAX.06-6202-2502

#### 会社概要

<https://www.daigas-energy.co.jp/company/>

#### 各種商材・サービス

<https://ene.osakagagas.co.jp/product/index.html>

#### お電話でのご相談は

Daigas エナジー エネルギーコンタクトセンター

**0120-563-862**

平日(月～金)9:00～17:30